平成21年度 笠間市青年海外派遣事業

ふるさと納税の寄附金（元気かさま応援基金）を財源として、平成21年度笠間市青年海外派遣事業を実施しました。

【実施期間】
平成21年8月17日～24日（8日間）

【派遣先】
中国　広東省（深圳（シンセン）市・広州市）

【研修内容】
革ベルト関連工場の視察／職業体験／職業訓練校の生徒との交流会／深圳市・広州市の市街地視察

【派遣団員】 6名
村田　有可莉、八田　真実（友部高等学校2年）、山口　美桜、小林　楓（笠間高等学校3年）、清水　直樹（茨城大学3年）、篠崎　碧（共立女子大学4年）

【団員の感想】

革ベルト関連工場を視察して（関連企業3社）

外の蒸し暑さとあまり変わらない環境で働いていた。管理職の人と、工場内の作業員とでは、食事もトイレも住むところも異なっており、格差を感じた。このような格差についてどのように思っているのか、作業員の方にも聞いてみたかった。（村田　有可莉）

職業体験（革ベルト工場）

ベルトひとつに作業工程がいくつもあり、作業員が簡単にこなしている加工も、いざやってみると意外に難しかった。妥協を許さない職人技と言葉が通じない中で伝え方を工夫して教えてくれた優しさに触れることができた。（八田　真実）

皮ベルト加工体験

中国の料理について

味付けは濃く、油っぽいが、広東料理は、日本料理に近く、想像していたよりもとても美味しかった。盛り付けは、あまり日本の中華料理と変わらないが、肉料理は材料となった動物の頭が顔付きのまま盛り付けられていた。（山口　美桜）

職業訓練校の生徒との交流会

日本語教室の生徒と交流したが、みんな向上心があり、とても積極的で日本語も上手だった。中国語が分からなくても、ジェスチャーや漢字を用いることでコミュニケーションがとれたが、中国語を話せるようにもう少し勉強しておけば良かった。（小林　楓）

日本語教室で交流会

市街地視察（深圳市、広州市）

都市部は東京と変わらないか、それ以上の超高層ビルが立ち並び、緑も多く、非常にきれいに整備されていた。一方、宿泊地付近では、ゴミが路上に散乱しているなど日本にはない雑然とした光景が見られ、極端な街並みの違いを感じた。（篠崎　碧）

深圳市経済特区内の中心地

派遣を終えて

言語はもちろん街並みも生活様式も違う中国へ行き、日本で得られる情報から想像していた中国とは違う姿も自分の目で見て感じることができた。異文化の中で生きている自分とは違った魅力や価値観を持つ人との出会いが、視野を広げ、自分を成長させてくれたように思う。この事業に参加させていただいたことに心から感謝しています。（清水　直樹）

フェアウェルパーティー

▼問合せ　市民活動課（内線135）